



◆待望の新庁舎スタート！

新庁舎の完成を記念し、7月17日(水)に式典を開催しました。

完成記念式典には、渡辺博道復興大臣をはじめとする国会議員、清水敏男いわき市長、漁業団体、施工会社など約70名の参列をいただきました。



※左より 黒萩 水産庁増殖推進部長・金子 衆議院議員・草野 裕星さん(いわき海星高校3年)・内堀 知事
渡辺 復興大臣・吉田 県議会議長・清水 いわき市長・立谷 県漁連副会長理事

式典では、内堀知事から施設完成までに御支援と御協力をいただいた方々への謝辞を述べ、次いで、渡辺 復興大臣、吉田栄光 県議会議長、水産庁長官(代読：黒萩真悟 水産庁増殖推進部長)、福島県漁業協同組合連合会代表理事会長(代読：立谷寛治 副会長理事)の方々から祝辞をいただきました。

式典最後のテープカットには、内堀知事、来賓の方々、未来の漁業を担う若者を代表して県立いわき海星高校海洋科3年の草野裕星さんが参加し、盛大なオープンを迎えることができました。

《内堀知事 式辞》



《式典終了後、施設の「内覧会」を開催》



《シャーベットアイスによる高鮮度化の試験研究》《水中テレビロボットカメラの海底土放射能調査》

※左より〔渡辺復興大臣・内堀知事・清水いわき市長 ・説明者：涌井所長〕

◆試験研究の紹介〔海底土の放射性物質調査〕

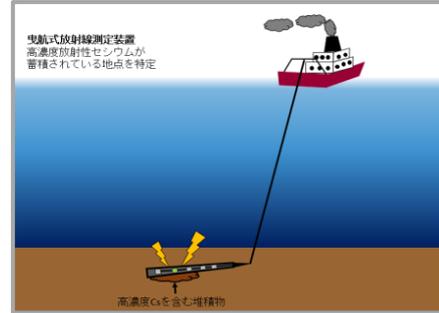
◎放射能研究部

放射能研究部では、魚介類、海水・海底土における放射性物質の調査研究に取り組んでいます。今回は、海底土の放射性物質の調査研究を紹介します。

- ①当センター調査指導船「いわき丸」が曳航式ガンマ線計測装置を用い、連続的に海底土の放射線量を調査します。



調査指導船「いわき丸」



曳航式ガンマ線計測装置を使用した海底土調査イメージ

- ②放射線量が比較的高い海底土の調査には、新たに導入した「水中テレビロボットカメラ」を海底に投入し、海底状況の観察や採泥を行い、放射線量などを測定します。



新たに導入した「水中テレビロボットカメラ」



海に投入した水中テレビロボットカメラ

- ③海底土の放射性物質の状況を把握するとともに、魚介類へ移行するメカニズムの解明に向けた基礎資料とします。



採取した海底土



放射性セシウムの測定（ゲルマニウム半導体検出器）

◆施設・設備の紹介〔一般研究棟〕

正門側にある一般研究棟は、本県沖における浮魚や底魚の資源動向調査のための研究室〔資源調査測定室・海洋環境分析室〕を配置しています。

さらに、漁海況情報処理室や図書・資料室などを配置し、漁況の把握や予測の高度化に向けた調査研究に取り組んでいます。



◎福島県水産海洋研究センター

◇所在地 〒970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字松下13-2

◇電話番号 0246-54-3151（代表）

◇メール kaiyoken@pref.fukushima.lg.jp